

令和5年度第1回国立市自転車対策審議会

令和6年2月9日

【事務局（蔭山）】 それでは、定刻になりました。本日は、大変お忙しい中、令和5年度第1回自転車対策審議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

まず、人事異動等により新たに委員になられ、本日初めての御出席となられる方もおられますので、改めて自己紹介をお願いできればと思います。

まずは、小嶋会長からお願いしてもよろしいでしょうか。

【小嶋会長】 皆様、よろしくお願いたします。埼玉大学の小嶋と申します。埼玉大学で土木の学科の中の交通研究室に所属いたしまして、交通安全などの研究をしております。

本日は、どうぞよろしくお願いたします。

【事務局（蔭山）】 それでは続きまして、委員の名簿順に自己紹介をお願いできればと思いますので、新井委員、お願いしてもよろしいでしょうか。

【新井委員】 こんにちは。立川警察署の交通課長の新井と申します。

午前中も別の会議に出席させていただきましたが、午後も引き続きよろしくお願いたします。

【事務局（蔭山）】 右回りをお願いいたします。

【柴崎委員】 どうも初めまして。国立市内の都道の管理をしております東京都北多摩北部建設事務所補修課長の柴崎と申します。どうぞよろしくお願いたします。

【横田委員】 市民委員の横田と申します。よろしくお願いたします。

【一ノ瀬委員】 市民委員の一ノ瀬と申します。ふだんは企業で経営管理に携わっております。よろしくお願いたします。

【板坂委員】 国立市観光まちづくり協会の板坂と申します。国立駅前のほうで薬局を営んでおります。よろしくお願いたします。

【田中委員】 こんにちは。国立市自転車商組合の田中と申します。国立駅南口で自転車店を営んでおります。どうぞよろしくお願いたします。

【根岸委員】 初めまして。国立市商工会の根岸大悟と申します。事業所は東で飲食店を営んでおります。商工会では、飲食の部会長を仰せつかっています。よろしくお願いたします。

【事務局（蔭山）】 委員の皆様、ありがとうございました。

次に、事務局につきましても、人事異動等により人員に変更が生じておりますので、自己紹介をさせていただきます。

【事務局（中島）】 こんにちは。基盤整備担当部長をやっております中島といいます。よろしくお願いたします。

最初に小嶋先生、また、立川警察署交通課長の新井委員には、午前中に会議がございまして、引き続きということで、誠にありがとうございます。また、お忙しい中各委員の方には、お集まりいただきまして、感謝申し上げます。

後ほど御説明があろうかと思いますが、当市においては、依然自転車の事故割合が高い状況でございます。委員の皆様と安全に自転車を利用できる環境を推進してまいりたいと考えておるところでございます。引き続き、御理解、御協力をいただければと思います。

ここで担当職員でございますが、昨年4月の人事異動で変わっておりますので、御紹介いたします。まず、道路交通課長の松平でございます。

【事務局（松平）】 松平です。よろしくお願いいたします。

【事務局（中島）】 次に、交通係主査の伊佐でございます。

【事務局（伊佐）】 伊佐です。よろしくお願いいたします。

【事務局（中島）】 次に、交通係担当の蔭山でございます。

【事務局（蔭山）】 蔭山と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局（中島）】 最後に後方のほうに控えております担当の佐藤でございます。

【事務局（佐藤）】 佐藤です。よろしくお願いいたします。

【事務局（中島）】 以上で、よろしくお願いいたします。

【事務局（蔭山）】 それでは、自己紹介が終わりましたので、自転車対策審議会の開会に移らせていただきます。

国立市自転車安全利用促進条例施行規則第27条第2項に基づき委員の半数以上の御出席をいただきましたので、審議会の成立を認め、開会といたします。

なお、今回の審議会につきましては、東日本旅客鉄道株式会社八王子支社、国土交通省関東地方整備局相武国道事務所から欠席の御連絡をいただいております。

次に、会長につきましては、引き続き学識経験者の埼玉大学准教授でおられます小嶋委員にお願いしております。本日は、テレビ電話により御参加いただいております。先ほど自己紹介をいただいたところではございますが、あらためて開会に伴う御挨拶を会長よりいただければと思います。

小嶋会長、お願いいたします。

【小嶋会長】 改めまして、埼玉大学の小嶋です。

先ほど既にお話ございましたが、午前中には交通安全対策審議会の会議が行われておりまして、そちらの中でも自転車のことは、大変多くの方から御意見がございまして、本当に事故が起こっている中のかかなり自転車の関与率が高いというところの現状のご指摘であったり、なかなか自転車が加害者になるような立場になって危険な状態もあるというような様々な御意見をいただくような会議でした。こちらの自転車対策審、自転車の審議会につきましても、こちらの自転車の安全を守りながら、また、安全にそして快適に自転車を使っていくという国立市の中の本当に大きな役割を占める自転車の会議ということで、ぜひ貴重なお時間を使っていただいております皆様へ御議論、御意見いただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

【事務局（蔭山）】 小嶋会長、ありがとうございました。

なお、本日の進行につきましては、小嶋会長に代わり、事務局のほうで行わせていただきます。

次に、議題へ入らせていただきますが、まずは、資料の確認を行えばと思います。

まず、次第に続きまして、国立市自転車対策審議会委員名簿を1枚目で配付しております。次に、資料1-1、シェアサイクル（コミュニティサイクル）についてとなります。次に、資料1-2、シェアサイクルポート設置箇所の資料となります。次に、資料1-3、シェアサイクル（コミュニティサイクル）に関する取組となります。次に、資料2、令和6年度撤去自転車保管場所の運営体制についてとなります。次に、資料3、自転車駐車場利用料金についてとなります。最後に資料4、自転車ナビマークの設置箇所となっております。

なお、今回より委員となられた方につきましては、別で自転車安全利用促進計画を配布しております。こちら既にお配りさせていただいた方がほとんどかとは思いますが、本日予備もお持ちしておりますので、もし追加で御希望ということでしたら、帰りにお声がけいただければ幸いです。資料の過不足等は、ございませんでしょうか。ありがとうございます。

なお、委員名簿についてですが、東日本旅客鉄道株式会社八王子支社、国土交通省関東地方整備局相武国道事務所より人事異動に伴う委員変更についてお話をいただいているところでございます。つきましては、現在、新たに委員となられる方の調整を行っているところでございますので、本日お配りした委員名簿については、氏名欄を空白とさせていただいております。

以上、資料の確認が終わりましたので、早速お配りした資料に沿ってお話をさせていただきます。

進行に当たっては、合間に委員の皆様より御質問や御意見をいただく時間を設けさせていただきます。委員の皆様からお話をいただきます際には、大変申し訳ございませんが、議事録作成の関係により、あらためてお名前を述べていただきましてから御発言いただけますと幸いです。議事録は、後日市のホームページに掲載させていただきますので、御了承いただけますと幸いです。

それでは、まず、資料1-1を御覧くださいませ。資料1-1、シェアサイクル（コミュニティサイクル）についてお話をさせていただきます。

国立市では、平成31年1月から3月に事業者提案事業においてコミュニティサイクル事業の提案を受けたことから、コミュニティサイクル導入に向けた支援方針に基づきOpenStreet株式会社様が提供するHELLO CYCLINGを採用し、平成31年4月から国立市内での運用が開始しております。事業開始から年々ポート数も増設しておりますが、この場を借りて利用実績や令和5年度のポート設置について御報告をさせていただければと思います。

まず、(1)番の事業者様の詳細についてお話しできればと思います。国立市で展開しているのは、ソフトバンク株式会社のグループ会社様でございますOpenStreet株式会社様が御提供されているシェアサイクルブランド、HELLO CYCLINGとなっております。HELLO CYCLINGは、系列のシェアサイクルポートでございましたら、他区市町村への相互乗り入れが可能なものとなっております。近隣市では、立川市、小平市、日野市、国分寺市、福生市、武蔵村山市が、導入されております。

利用方法としましては、スマートフォンの専用アプリによる自転車の検索、鍵の開錠、決裁を行う仕組みとなっております。利用料金につきましては、30分まで130円。以後15分ごと100円、12時間まで1,800円という料金体制となっております。設置自転車としては、電動アシスト付自転車が主となっておりますが、一部スポーツタイプの自転車も用意されておまして、こちらは別途料金設定がされております。

次に、令和5年度設置ポートになりますが、こちらに関しましては、資料1-2と併せて御覧いただければと思います。

今月時点で市内のポート設置箇所は39か所となっております。台数は合計315台でございます。設置箇所としては、国立駅の周辺の市街地よりも住宅街に多く設置されている傾向にございます。また、公園、コンビニ、団地、公営施設といった幅広い場所に設置されているところでございます。また、UR都市機構様に敷地の一部を使用させていただくなど、関係機関様にもシェアサイクルに対する御理解をいただいております。

令和5年度には、ポート数15台の西国立寮、赤い枠で囲ませていただいておりますが、もう1か所、ポート数9台の泉団地前緑地が、新たに設置されております。

次に、資料1-1の利用推移についてお話をさせていただきます。令和元年の4月からHELLO CYCLINGによる事業が開始したところでございますが、その後の推移をお話しさせていただきます。まず、令和5年5月には1,000件だった利用者数になりますが、令和2年4月には1,500件、令和3年4月には4,000件、令和4年4月には5,500件、令和5年4月には7,700件、そして、令和5年12月には1万800件という件数になっております。初年度につきましては、15か所の95台分のポートから始まっておりますが、5年ほどで現在の39か所315台まで設置箇所が増えているところがございます。今後も皆様のニーズをお聞きしながら有効な設置箇所があればOpenStreet様と連携し、ポートの増設を図っていきたくと考えております。

次に、裏面をお願いいたします。

令和5年中の利用実績について具体的な数字をお伝えできればと思います。

まず、稼働自転車台数としましては1万163台、利用回数は10万5,113回、利用者数は1万3,914人、そして、平均利用者数は1ユーザー様当たり7.6回という回数になっております。令和5年中は、1月が利用実施約5,900回だったのに対して同年12月には、約1万800回と大幅に増加しております。

平日、休日の実績比、令和5年12月に絞ったお話になりますが、平日が7,202回、休日が3,593回となっております、休日の利用も決して低くないと言える内容となっております。

利用時間としましては、15分以内という数字が最も多くて5万2,815回、次いで、30分以内が3万2,627回となっております。利用時間の多い時間帯としては、8時台、17時から19時台が多くなっておりまして、通勤、通学時の利用が主であると推測されます。しかしながら、300分以上の長時間利用も1,267回、月平均で見ますと105回ございまして、このことから、観光誘致といった効果も期待できるのではないかと考えております。

観光にひもづいた内容となりますが、令和5年度につきましては、当市を含む多摩7市で期間限定の施策が行われておりまして、次の資料1-3にて施策の紹介を、続けて御説明させていただきます。

資料1-3の御用意をお願いいたします。

市内ポートを設置しているHELLO CYCLINGにつきましては、令和5年度の取組として期間限定の施策としてシェアサイクルで7多摩、多摩7市の観光地「つなごう」キャンペーンが実施されました。実施内容としましては、HELLO CYCLINGのシェアサイクルを使って多摩7市内の観光スポットを巡ることで、シェアサイクルの無料クーポンを配布するといった内容でございました。キャンペーン期間は、令和5年10月1日から令和5年11月30日ございまして、立川市、小平市、日野市、国分寺市、国立市、福生市、武蔵村山市がキャンペーンに参加しております。キャンペーン期間中に対象の多摩7市内のステーションでシェアサイクルの利用を開始することによって、HELLO CYCLINGのアプリのマップ画面に表示された観光スポットにチェックインボタンをタップし、自転車レンタルで御利用いただける200円のクーポンを配布するといった内容でございました。

次に、(2)番の国立市の観光地チェックポイントになりますが、多摩7市内の観光地チェックポイント総数は69か所という内容でございましたが、国立市では、下の表にございます10か所が、観光地チェックポイントとして設定されました。こちらのとおり国立駅付近の市街地に限らず様々なエリアに観光チェックポイントが置かれた形でございます。

次に、裏面を御覧くださいませ。

キャンペーン実績について御報告をさせていただきたいと思っております。こちらOpenStreet様より情報

提供をいただいた内容になります。

まず、市内の観光地チェックポイントの期間中のチェックイン回数は、428回という実績でございました。それに対して多摩7市全体の観光チェックポイントのチェックイン回数は、2,156回という内容でございました。キャンペーンに参加した各自治体においては、それぞれ10か所ほどの観光地チェックポイントが設置されていたところでございます。全体の回数に対して国立市における実績を見ると、とても高い成果が得られているのではないかと考えております。市内における観光地チェックポイントは、下の表にさせていただいております。最も回数の多かった市内のチェックポイントは、同じ回数になるのですが、大学通りと鳩の湯、次いで、くにたち野菜と地域食材の店「とれたの」という結果になりました。多摩7市で最もチェックインが多い観光地チェックポイントは79回となっております。大学通りと鳩の湯につきましては、多摩7市全体の観光地チェックポイントの中でも5位というかなり高い実績となりました。他市を出発して国立市の市内の観光チェックポイントをチェックインしている内容としては国分寺市が最も多く、次いで立川市、日野市という結果になりました。

こちらにつきましては、現在、OpenStreet様により詳細な実績集計を行っているところでございまして、この場においては、先行して簡単な御報告とさせていただいております。

以上が、シェアサイクルに関する御報告となります。

次に、資料にはございませんが、シェアサイクル同様シェア事業として注目されている電動キックボードについても、簡単に触れさせていただきたいと思っております。

電動キックボードは、特定小型原動機付自転車という形になり、16歳以上が運転できる免許不要のものとなりますが、市内でも事業者様によるシェア事業が展開されており、個人でも5万円ほどから購入できるという手軽さもございまして、今後使用者様の利用増加が予想されております。最近では、市営の自転車駐車場に電動キックボードを止められないかというそういったお問合せも実際に来ているところでございます。現在立川警察に確認させていただきましたところ、令和5年中における国立市内の電動キックボードの事故は、現時点で確認されていないという情報をいただいております。今後も普及状況や事故発生については、随時確認を行っていきたいと考えております。

以上、資料1-1から1-3までの御説明とさせていただきましたが、ここで1度これまでの資料の御説明について委員の皆様から御質問や御意見がございましたら伺えればと思います。御意見、御質問がございました方は、挙手と先ほどお伝えしたとおり最初にお名前を改めて述べていただけますと幸いです。それでは、お願いします。

【横田委員】 市民委員の横田です。

ちょっと市民からの声を預かってきていますので、発言させていただきたいと思っております。

令和5年度内に数回利用した小学生からの声で、谷保第3公園にあるポートから利用したのですが、短時間の使用であったけれども、途中で充電が切れてしまって、電動アシスト自転車って充電が切れてしまうと、かえって重いのです。それで苦勞したという声が出ています。充電が完了していなくても借りられてしまう状態なのかということを確認して欲しいと言われたことと、あと、充電実際ポートに入れてどれくらいで完了がするものなのかということも、併せて教えていただきたいと預かってきています。

【事務局（伊佐）】 そちらにつきましては、恐らく充電されていない自転車も利用できるよう、借りることができるような状態になっているのではないかと考えています。利用される際にアプリで予約

して使われると思うのですが、その中で充電状況が今どうなっているかというのは、見られるようになっていたかと思しますので、そちらの充電状況見ていただいて御利用をいただくようなかたちになっているかと思ひます。

充電については、HELLO CYCLINGで1回回収して充電をしているというような形になるかと思ひますので、ちょっとそれが具体的にどれくらいで充電完了しているのかというのが、私どものほうで明確につかめてはいないというところにはなりますが、国立駅の高架下に充電するポートがございますので、ここでも充電していただくことは可能にはなっているかと思ひます。充電の使用時間でいいますと、充電の残量にもよって変わってきてしまうところがあるのかというふうに思ひますので、大まかな御回答になってしまつて恐縮なんですけれども、家庭用の電動自転車でもいいますと、恐らく2時間くらいで充電完了するのかというふうには推測できるということでございます。

【横田委員】 ありがとうございます。

【事務局（蔭山）】 ほかに御意見、御質問はございますでしょうか。

【一ノ瀬委員】 市民委員の一ノ瀬です。

昨年の会議の際に、もう施行されたと思うんですけれども、ヘルメットの努力義務化というのが話題に上がっていたかと思ひます。そのときもHELLO CYCLINGさんに協議していきますというお話だったと思うんですけれども、そちらは何かきつとほかの市とかも含めてこういうふうに入力していかうとかそういう話つてあったのかと思うんですけれども、いかがでしょうか。

【事務局（伊佐）】 現状自転車ヘルメットは努力義務というような位置づけになっておりますので、ヘルメットがなくても今乗ることはできるというような状況にはなつております。ヘルメットの着用は利用者の方の御判断に委ねられているというところが現状にはなつてくるかというふうには思つてはおります。アプリを開いて実際に借りようとする際には、道路交通法改正によりましてヘルメットの着用が努力義務になっていますというような案内をしてはいただいているというようなところになっております。

それから、市の事業としまして、令和5年度自転車ヘルメットの購入費の補助の事業を行つておりました。現在予算が上限に達してしまいましたので、令和5年度の申請は、終了してしまつていふところではございますが、市としてもヘルメットの普及に向けては、取り組んでいきたいというふうに入力しているところでございます。

【事務局（蔭山）】 ほかに御質問、御意見ございますでしょうか。

そうしましたら、続きまして、資料2に移らせていただきます。資料2は、令和6年度撤去自転車保管場所の運営体制というタイトルになっております。

それでは、お話しさせていただきます。

国立市では、市内の放置自転車について泉保管場所に移送し、一時保管及び引取りの受付を行つていふところでございます。令和6年度につきましては、引取り実績等に基づき開館時間や開館日数の変更を、保管場所を泉保管場所から中央線高架下自転車駐車場内に移設するという方針で現在進めております。

まず、(1)の令和5年度の撤去自転車の移送、引取り実績についてお話をさせていただきます。

こちら令和5年度の実績となりますので、4月から12月までの表記とさせていただきます。まず、移送台数が、月平均で言いますと58台ほどの移送となっています。次に、移送に対して引取り台数となりますが、月平均で言いますと30台ほどの引取り台数となつておまして、移送台

数に対し引取り台数が少し物足りないような数字となっております。撤去された自転車につきましては、防犯登録から持ち主様の確認を行いまして引取りの案内を行っているところでございます。移送台数に対する引取り台数は、先ほどお伝えしたとおりで少し物足りない結果となっておりますが、引取りにお越しただけなかった自転車につきましては、ごみ減量課などと連携いたしましてリサイクルを行っているところでございます。引取り台数の減少や持ち主様による引取り増加を図りたいと思っております。

次に、(2) 番、運営体制の変更内容というところを御覧いただければと思います。

こちら保管場所の現在と令和6年度の運営体制について記したものになりますが、まずは、令和5年度のほうからお話をさせていただきます。

今現在もこの運用となっておりますが、まず、保管場所の開館時間としましては、平日午後1時から午後4時となっております。土曜日、日曜日、午前9時から午後4時となっております。休業日は祝日、年末年始となっております。基本的な平日、休日に関しては、全て開いているというような状況でございます。移送手数料につきましては、2,000円という金額で現在運営を行っております。職員配置、こちら委託先のシルバー人材センター様の会員様になりますが、3人という人員配置になっております。

次に、令和6年度運営体制を御覧いただければと思います。

こちらは、来年度の4月から開始させていただくような形となりますが、まず、開館時間です。平日は、火曜、木曜日、午後1時から午後3時とさせていただきます。日曜日、午後1時から午後3時を開館とさせていただきます。休業日につきましては、月曜日、水曜日、金曜日、土曜日、祝日、年末年始となっております。移送手数料につきましては、2,000円と変更はございません。職員配置につきましては、同じくシルバー人材センター様の会員様になりますが、3人から2人に変更させていただくところでございます。移送手数料については、現状変更の予定はありませんが、こちら御意見が分かれる内容なのではないかと考えております。

参考までに近隣市の手数を挙げさせていただきますと、府中市では、撤去料を2,000円徴収しているのに加えまして保管料を1日50円徴収しているような内容になっております。立川市では、撤去料が2,000円となっております。2,000円という金額につきましても、中には高く感じる方もいらっしゃるのではないかとこのように思っているところではございますが、自転車撤去にかかる1台当たりの費用は、人件費等を考えますと1万円を超えるような内容となっております。決してこの金額設定が高い料金設定になっているというわけではございません。

次に、(3) 番の保管場所の移設について御説明をさせていただきます。

現状撤去自転車の保管と返還手続は、泉保管所で行っておりますが、泉保管場所の運営は令和6年5月までとさせていただきます。同年6月に中央線高架下自転車駐車場内での運用開始を予定しております。あくまで移設時期につきましては予定でございますので、変更の可能性がございます。こちらの移転を行う理由としましては、泉保管場所は、交通の便が悪いことから引取りを行わないという判断をしてしまう方がいらっしゃる可能性があるのではないかと考えております。このことから、高架下自転車駐車場は、国立駅からの徒歩圏内の位置でございますため、引取りの割合が増加することが期待できるのではないかと考えております。

以上、こちら資料2の御説明とさせていただきますが、またここで委員の皆様には、御意見、御質問などございましたら伺えればと思います。挙手をお願いいたします。

【一ノ瀬委員】 市民委員の一ノ瀬です。

撤去自転車の保管については、特に国立市では保管料は取っていないということだと思わなければならないけれども、こちらは今後取ったりする予定というのはあるのでしょうか。

【事務局（蔭山）】 私のほうからお答えさせていただきます。

現在では、あくまで移送手数料2,000円のみ徴収している形となり、先ほど例を挙げさせていただいたのが府中市で保管料を別途取っているというような内容でございましたが、現時点で国立市では、別途保管料といったものを取る予定はございません。

【板坂委員】 観光協会の板坂です。

こちら令和5年度の運営体制と令和6年度で大きく変わっていると思うんですが、放置しちゃいけないんですが、持ってかれた場合、火曜、木曜だけだと非常に市民の方が困るんじゃないかと思ひまして、ここはどうしても経費削減するためこうしたのか、特に火曜、木曜が多いのでこの2日を選んだのかとか、前回だと土曜、日曜というのはやっぱり休みなので、わざわざ取りに行こうということで9時から開けていたと思うのを、今度1時から3時にまたここも短縮しているじゃないですか。そこがまた1つどういう経緯でこうなったのかということと、もう一つ泉から駅のJRの高架下になることで、もしかしたら取りに行きやすいという人が多いのかもしれないけれども、そこに移設したとしてもこの運営体制は変わらないのかどうかということ、ちょっとお聞きしたいんですが。

【事務局（中島）】 今いただい御質問ですが、移転をしまして運営時間、それから曜日が短くなるというところがございますけれども、こちらは、そうした経費の削減、それから財政上の観点から少なくしているというところがございます。曜日につきましては、平日だけの開館では、なかなかお仕事を持っている方もいらっしゃると思いますので、日曜日も開けてそうした方々も取りに行きやすいようにというところで考えております。それから、国立駅の高架下のほうに移した場合においても、この開館時間、それから曜日につきましては、お示しさせていただいております令和6年度のこの運営体制というところで考えているというところがございます。

【事務局（蔭山）】 他に、御質問、御意見はございますでしょうか。

【板坂委員】 4月からということなので、ちょっと僕もよく分かりませんが、結構不満の声が出てきそうな気は、もう既にしておまして、やっぱり1日、2日自転車がないというだけで非常に生活に支障を来す方もいると思うんです。なので、ここはもう決定してしまったのではないかもしれませんが、今後やっぱそういう声が上がってきたときは、再度考えていくということでもよろしいのでしょうか。

【事務局（松平）】 道路交通課長松平です。補足をさせていただければと思います。今、板坂委員のほうからも言われました御指摘は、ごもっともだと思ひまして、その中で開館時間を曜日別で決めたときに、一番多くても水曜日が多いとかそういう傾向が分かればいいのかと思ったのですが、上の資料の2ページ2の上の表の中で引取り実績を見ますと、大体1日1台あるかないかというところにして、傾向を見ることが難しく、働いている方にも聞くようにしたんですが、やはりその辺が見えないというのが実際ありまして、その中で火曜日と木曜日と日曜日ということで設定しています。次年度やってみまして、御意見の中でこの考え方を考えるべき必要がありましたら再度曜日も含めて検討したいと思ひしております。

以上です。

【事務局（蔭山）】 ほかに、御意見、御質問ございますでしょうか。

【横田委員】 市民委員の横田です。

移送の実績なんですけれども、10月だけ著しく台数が91台と多くて、これは、どうしてこの月だけこんなに多かったのかって分かりますか？

【事務局（蔭山）】 私、蔭山からお答えをさせていただきます。

こちらにつきましては、正直なところ具体的な原因というものは分からない形にはなってしまうのですが、特に見回りの職員が日数が多かったとか時間が多かったとかそういったことでも特になく、あまりシーズンのなものはないのかもしれませんが、今後そういった傾向というのも確認していきたいというふうに思います。

【横田委員】 私の勝手な推測で、天下市の前で一橋の前のあの無料のゾーンのものをもしかしたら放置されているものを撤去されたのかと勝手に思ったんです。そういうことはありませんか。

【事務局（蔭山）】 天下市の際には、自転車無料駐輪所を閉鎖させていただいた形にはなるのですが、そこで撤去台数が増えたかというところそういうわけではないです。天下市の際に置いてあった自転車は、近場の別の空間に移動させて頂き、移動した中で皆様がそれに気づいてお持ち帰りくださったので、そこからの撤去というのは、なかったように見受けられます。

【横田委員】 ありがとうございます。

【事務局（蔭山）】 他には、ございますでしょうか。たくさんの御意見と御質問、ありがとうございました。

それでは、続きまして、資料3に移らせていただきます。

自転車駐車場利用料金についてという内容になります。まずは、自転車駐車場使用料一覧の表を御覧いただければと思います。こちら1か月分の内容を御覧いただくのが分かりやすいかと思いますが、各自転車駐車場の料金は、表のとおりとなっております。一部高校生以下の学生さん、通学に限ってはなりますが、あとは児童扶養手当受給者様、しょうがいのある方、生活保護受給者の方につきましては、減免の適用がございます。

そして、一時利用は、市内の有料の市営自転車駐車場につきましては、一律で100円という金額設定とさせていただいております。国立市では、屋根の有無で定期利用の金額を分けているところがございますが、中央線高架下自転車駐車場につきましては、他の自転車駐車場と比較して少し駅から遠いということが理由として挙げられるのですが、稼働率が低いこともございまして、稼働率を上げるために金額設定を下げておりまして、市内市外問わず1か月1,000円という金額設定にさせていただいております。

この他、今挙げさせていただいたのは市営の自転車駐車場になるのですが、市内には民営の自転車駐車場もございますので、市内各駅の付近にある自転車駐車場の料金について例を挙げさせていただきます。まず、国立駅周辺になるのですが、Cycle DAICHIがございまして、そちらは8時間100円。三井のリパーク国立駅前駐車場、こちら8時間100円となっております。こちら少し駅から離れるのですがTOBUPARKは24時間110円という金額になっております。次に、谷保駅につきましては、こちらCycle DAICHIになりますが、24時間100円という金額設定になっておりまして、電子マネーのお支払いの方につきましては90円になるという内容でございます。次に、矢川駅になりますが、Cycle DAICHI、こちら18時間100円という金額になっておりまして、以降は6時間ごとに100円という金額設定となっております。

次に、近隣市の自転車駐車場の料金についてお話をさせていただきます。今回は、立川市様と国分寺市様を挙げさせていただきます。表の内容は、一時利用が24時間、定期利用は1か月分の料金となっております。近隣市では、一時利用では立地により金額設定されているところが見受けられまして、主要駅から近くなっておりますと100円を上回る金額設定の自転車駐車場もございます。定期利用についても同様に立地により金額設定が異なります。国立市は、各市営自転車駐車場が駅から近く、近隣市と比較しても比較低い価格設定になっていると思います。

国立市における利用料金につきましては、金額を下げるべきといった声もあるところではございますが、先ほど挙げさせていただいた民営の一時利用料金を考慮しますと、市営と民営の料金設定に大きな差が生じてしまいますと、民営自転車駐車場の稼働率が下がってしまうことにつながりまして、運営が困難になってしまうということも想定されます。そうなりますと、市民の皆様の利便性自体に影響が出てしまう可能性がございます、現状金額を下げるという判断は行っておりません。こちらの料金体系についても、皆様様々な御意見があるのではないかと考えているところでございます。

次に、こちらは資料にはない内容をお話しさせていただければと思うのですが、市で管理している無料の自転車駐車場についても触れさせていただきたいと思っております。市営自転車駐車場につきましては、有料自転車駐車場に加えまして一橋大学前、先ほど御質問の中で挙げていただきましたが、大学通り無料自転車駐車場を開設しています。

先ほど中央線高架下の金額設定を低くしていることについてもお話しさせていただきましたが、駅から程近い位置に無料駐車場が開設されていることも、中央線高架下の稼働率低下につながっていることが考えられます。大学通りの景観を損なうといった観点からも、大学通り無料自転車駐車場に代わる自転車駐車場の開設を行いたいと考えているところにはなりません。市営の自転車駐車場がない大学通り東側のエリアを想定しているところにはなりません。現状大学通りの無料自転車駐車場は1,300台の収容台数になっているのですけれども、それに代わる自転車駐車場を開設できる規模の用地が、現状見つけられないというような状況でございます。

現在は、定期利用が満車になっている有料自転車駐車場は、現時点ではないんですけれども、今後大学通り無料自転車駐車場の規模を縮小をすることによって有料自転車駐車場を御利用いただくといった方法も考えられるところではあるのですが、こちらについても、御意見が分かれる内容なのではないかと思っております。

以上が、こちらの資料3についてのお話となりまして、またここで委員の皆様より御質問、御意見をいただく時間を設けさせていただきますので、挙手をお願いいたします。

【田中委員】 自転車組合の田中です。

国立駅周辺の利用率ですか、借りたいという場合の利用率は、大体年間平均で大体どのぐらいになっているんでしょうか。置きたいという方が置けないということも、頻繁にあり得るんですか。その辺をちょっとお聞きしたいんですけれども。

【事務局（蔭山）】 ありがとうございます。私、蔭山からお答えをさせていただきます。

各自自転車駐車場につきましては、もちろん場所によって利用率というものが異なる形になりますが、1番利用率が高いところでいいますと国立駅南第1自転車駐車場になりまして、こちらは今、空きはあるのですが、大体利用率70%前後になってくるのではないかとこのように思っておりまして、これに対して先ほど利用率が低いということでお話しさせていただいた中央線高架下の自転車駐車場につきましては、かなり大きな規模感にはなっているのですが、利用率が大体30%前後とかなり低

い形になっております。かなり空きがある状態になってしまっておりまして、そういった用地の活用としましても保管場所の移転の候補としてあそこが挙げられた形で、実際に進めさせていただいているところでございます。以上となります。

【田中委員】 ありがとうございます。

【横田委員】 今年の4月に国立駅の南側に子育て支援施設ができると思うんですけれども、そこらができるのと自転車にお子さん乗せて来られる来館者の方たくさんいらっしゃると思うのですが、その動線については何か考えていらっしゃるのでしょうか。

【事務局（松平）】 お答えします。道路交通課長松平といいます。

今、子育て支援施設が、JRさんのつくっている1階にできるということで、附置義務駐輪場ができるというお話は聞いているんですけれども、子育て支援施設の利用者のために何台ということは、明確には今、頭なくて、20台弱だったような気がします。それが埋まれば、高架下ですとか南第1が近いので、その利用が見込めるのかというふうに思っているんですけれども、附置義務としては20台弱だったというふうに記憶しております。以上です。

【事務局（蔭山）】 ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。

【根岸委員】 国立市商工会の根岸です。

先ほどのお話の中で駅前の自転車駐車場の利用は、大体朝、通勤通学で使われている方が多いのかと思うんですけれども、便利なところに自転車を止めて駅に歩いていかれる方が多いと思うんですが、朝の時点でもうかなり満車状態になってしまって、駅前に自転車で、駅前の商店街に例えば買物をするために自転車を使いたい市民の皆様とかが駐輪するときに、もう既に満車の状態でもう置く場所がなくなって、結局それが放置自転車のさっきの話にもつながってくると思うんですけれども、放置自転車につながってしまうんじゃないかという話でもあるのかと思ひまして。

例えば通勤通学で使う100台あったとしたら、半分とか7割とかは通勤通学で使っていて残りの30個を残しておいて、それを例えばその後の時間帯で買物されるお客さんとか市民の方が使うようなそういう何でしょう、シェアとかそういうリバランスみたいなものもあると、商工会とか商業を営んでいる者からするとすみ分けができるんじゃないかとちょっとふと思ったんですけれども、それについてはいかがでしょうか。

【事務局（伊佐）】 月幾らという形で使われていらっしゃる定期の利用の方、恐らく通勤通学で使われている方の多くがこのような使い方をしていただいているのかと思います。このほかに一時利用という形も設けておりまして、一時利用ですと1日100円というような料金設定をしております。恐らく買物で使われるような方は、一時利用で使われている方が多くいらっしゃるのかというふうに思います。例えば国立駅の第1自転車駐車場でございますと定期の方、それから一時利用の方、フロアを分けておりますので、そうしたところすみ分けというような形を取らせていただいているところでございます。商店街からは若干離れてはしまうんですけれども、中央線高架下におきましては、一時利用でしたら2時間まで無料というようなこともさせていただいてはございます。

【根岸委員】 満車になるのかならないのか。

【事務局（伊佐）】 まず、定期の利用については、現状満車になっているというところはございません。一時利用につきましても、恐らく恒常的に満車になっているというところはないのかと思うんですけれども、近くで例えばイベントなんかがあったりするケースにつきましても、一時利用などが満車になるケースというのはあるのかというふうに思っております。

【事務局（蔭山）】 補足になるのですが、お子さんを乗せるタイプの大型の自転車というのが最近多くあると思うんですけども、市内の自転車駐車場でラック型の自転車を載せていただくタイプのところがあるのですが、そういったところだとお子さんを乗せる自転車というのが、どうしてもタイヤが太いのではまらなかったりする形でございます。通常の自転車とは別にただ置けるようなスペースを設けさせていただいているところにはなるのですが、こちらでも徐々に台数が増加していく中でどうしてもスペースが足りなくなってしまうと、自転車駐車場自体は空いているのですが、大型の自転車だけどうしてもスペースが足りなくて満車になってしまうということが、最近でも起こったりはしています。そういったことが生じた場合には、自転車駐車場に配置されているシルバー会員から御連絡をいただき、スペースを広げる対応をさせていただいている形でございます。どの自転車タイプの方も問題なくいつでも使えるようにということで配慮を行っているところでございます。以上となります。

【根岸委員】 先ほど一橋大学のところの無料自転車駐車場が約1,300台ぐらいあるというお話で、東地区に駐輪場、自転車駐車場のスペースがないという話もありましたけれども、1番国立駅で利用率が高いところが70%、高架下については30%って今、お話ありましたけれども、そこを全部100%とか90%とかで計算した場合、何台ぐらい足りないという感じなんですか。1,300丸々じゃないのかと今思っていて、五、六百台ぐらいは、多分ちゃんと自転車駐車場にみんなが申し込んでくれれば何とかなるのかと思ったんですけども、どうでしょう。

【事務局（松平）】 お答えします。道路交通課松平です。

多分、今、御質問の中では、駅周辺には十分な駐輪場は現状あるのかと思っていまして、吸収は多分できると思うんですけども、やはり場所的に駅自体がやや東側に寄っている関係もありまして、駐輪場自体は西側に集中しているという現状がありますので、こちらの事務局としましては、やはり東側の利便性を考えたときには、駐輪場を設置しないとなかなか大学通りのそばは難しいと思っています。ただ、現状大学通り西側については、やや西側のところに駐輪場が現在ありますので、そこを利用いただきたいと思っています。以上です。

あと都市計画道路3・4・10号線、新しい道路ができて、市が土地を貸して民間駐輪場がやっているところがあるんですけども、結構満車になっているんですが、ああいうところを有効活用しながら、今後空いている用地を十分活用しながら、駐輪場の整備をしていきたいと思っています。以上です。

【事務局（蔭山）】 ほかに御意見、御質問ございますでしょうか。大丈夫そうでしょうか。

そうしましたら、続きまして、資料4に移らせていただきます。

こちらは簡単な報告とはなりますが、交通安全の担当が進めております自転車ナビマークの設置について御報告をさせていただきます。

こちらにお集まりいただいた皆様におかれましては御存じの内容になるかとは思いますが、自転車ナビマークの設置によりまして道路における自転車の進行すべき方向を明示し、事故の防止を図っているところでございます。こちら地図を御覧いただきまして、赤い実線が令和4年度までにナビマークを設置した道路となっております。赤い点線は、令和5年度に新たにナビマークを設置した道路となっております。青い点線につきましては、令和6年度新たにナビマークを設置する予定の道路となっております。

自転車における交通事故の防止のためにナビマークというものは順次整備していければと思ってい

るところでございます。

こちらで全ての資料についてのお話をさせていただいたところになります。ここで先ほども質問の時間を設けさせていただきましたけれども、あらためて最後に全体を通しての御意見や御質問等ございましたら、前の資料に遡っていただいても大丈夫ですので、挙手の上いただければと思います。

【事務局（伊佐）】 すみません、先ほど私、HELLO CYCLINGの充電の御質問を受けた際に充電がなくても借りられるのではないかというふうにお話しさせていただきましたけれども、もしかしたら充電ゼロの場合は、借りられないという可能性がございます。

ただ充電残量少ない場合、借りられてしまうというところになるかと思っておりますので、乗っている間とか、乗ろうと思ったらずぐ充電が切れてしまうとかというそういうケースは多分あり得るんだろうというふうに思っております。ゼロの場合というのが明確には分からないんですけれども、そのようなケースはあろうかというふうに思います。

例えばすぐ使おうとして残量全くないとかいうケースでございますと、恐らく3分以内だったかと思うんですけれども、返却することが確かできたと思っておりますので、実際自分が使ってみて充電少ないとか、そのほか故障があったという場合は、それくらいの時間でしたら無料で返却という処理が恐らくたしかできたと思っております。

何分以内でしたら返却できますみたいなポップアップみたいなのが上がっていたのではないかとお思いますので、大変恐縮ですが、また御利用される前にアプリのほうを御確認いただけるとよいのかと思っております。

【横田委員】 すみません、ヘルメットの助成金についてのお願いなんですけれども、助成金の制度が始まる以前、今はカルマックススタジマで多分購入しないと駄目というふうになっていて、それが始まる前はレシート等残っていればほかのお店で買ったものでも大丈夫ですということで市報に書いてあったように思うんですけれども、ちょっとカルマックススタジマだと結構ヘルメット高価なんです。なので、できればほか、本当は市内でお金が循環するのがいいことは分かっているんですけれども、なかなか手が出ない御家庭もあるかと思うので、もう少しダイシャリンとかもうちょっと増やすとか、安価なものでも購入できてかぶったほうがより安全なことは分かっているので、そういうふうにちょっと範疇を広げていただけると助かるかと思っております。令和6年度も実施していただけたらと思っております。

【事務局（伊佐）】 ありがとうございます。令和5年度につきましては、市内の4店舗の事業者様に御協力をいただいて実施をさせていただいたというところでございます。ヘルメットの安全対策、それから地元の振興というような観点で実施をさせていただいたというところでございます。令和6年度も実施ができればというふうには思っているところなんですけれども、御意見いただいたことも総合的にまた考えまして、令和6年度も実施していきたいと思っております。

【事務局（松平）】 先ほど委員さんのほうからカルマックススタジマさんだけがという話が何かあったんですが、そうではなくて4店舗あるんですけれども。

【横田委員】 そうなんです。

【田中委員】 うちにも。

【横田委員】 そうなんです。

【事務局（松平）】 1月末までということ今年度やらさせていただきましたので、今、締め切ってはいるような状況なのですが、引き続き次年度も市内の4店舗さんも含めてお願いしたいと思っております。来年度予算につきましては、1,000個ということで上げさせていただきました、次年

度もヘルメット普及に向けて同額付近を希望しているようなかたちでございます。以上です。

【事務局（蔭山）】 ほかには、御質問、御意見でございますでしょうか。

【事務局（松平）】 事務局の道路交通課の松平です。

事務局のほうから委員の皆様にご質問なんですけれども、自転車の撤去の移送手数料なんですけど、国立市としては2,000円でやらさせていただいてまして、その金額について結構安価なのかということと、さらに上げてもお考えが、委員さんの中でおありなのかということその辺をお聞かせ願えればと思ひまして、他市を見ましても様々あります。高いところについては5,000円というところもありますし、金額の妥当性についてはこちらも考えた上、あと、やはり高くしますと、放置自転車があったのを、撤去された自転車を回収せず、もう5,000円足せば新しい自転車買えるとか、そろそろ古くなってきて捨ててしまえばよいかとか、そういうような御意見にもつながってしまって、物を大切になくなるのではというふうに思っています。金額の妥当性について手数料条例の中で4年に1回見直しをしているところですけども、その辺の御意見を頂戴できればと思ひまして、委員さんのお考えがあれば、今の金額でいいんじゃないかとか、例えばもうあと2,000円取ってもいいんじゃないかとかそういうような御意見があれば、お聞かせ願えればと思ひます。

唐突感があって申し訳ないのですが、お願いします。

【根岸委員】 国立市商工会の根岸です。

今現在移送料手数料2,000円ということなんですけれども、これは違法自転車したことへのペナルティーという意味においては、これ手数料払うプラス泉の保管所に取りにいかないといけないというダブルペナルティーの状態になっていると思うんです。これが今度国立市北の高架下の自転車駐車場内に移送ということになると、これは、ペナルティーとしては、この移送手数料だけということになってしまうと思うんですけども、そうすると、例えば撤去されてもあそここの場所だからということで放置自転車が増えたりするというような、別の効果を生んでしまうような気もしたんですけども、そういう意味では、この2,000円で同じ金額ということであれば、放置自転車が増えてしまふんじゃないかというのを感じました。

金額の妥当性というところにつきましては、これが他市との、府中市が先ほどのお話で行くと2,000円と1日50円ということで、立川が2,000円ということだったんですけども、これどうでしょう、この金額を今と同じであれば、どっちかというところ放置自転車が増えるんじゃないかを感じました。

【事務局（松平）】 ありがとうございます。

【田中委員】 確かにうち自転車屋ですけども、やはり撤去されて取りに行くのがもう面倒くさいから、もう1万円で新規の欲しいというお客さん結構来ています。年間多いときだと20人ぐらいいらっしゃいますか、そのくらいはいると思ひます。今度駅の高架下のどの辺になるんですか。

【事務局（松平）】 北口です。

【田中委員】 場所的には、置く場所は。

【事務局（松平）】 西側です。

【田中委員】 駅の西側の、もちろん西でしょうけれども。

【事務局（松平）】 弁天通りから下りてきたところで。

【田中委員】 実際今度はかなり引き取る方多いと思ひます。泉まで行くのが大変だという方は、結構声多く聞きました。あと、撤去手数料2,000円ですか、これは、私からすると大体妥当な金

額じゃないかと思えます。

【事務局（蔭山）】 ありがとうございます。

【根岸委員】 僕も何度か自分の自転車取りに行ったこともありますし、止めたまま忘れちゃって、お客様でないとなつて一緒に取りに行ったの3回ぐらいあるんですけども、大体皆さん程よく反省して気をつけるようになるので、僕は2,000円妥当な金額だと思いますし、また、シルバーの方がよく運んでいるのも見るんですけども、結構な労働量なんでそれでも安いと思うぐらいなんですけれども、妥当な金額だと。今、田中さんおっしゃったように、多分引取り台数も今まで20台とか30台ぐらいだったのが、もう少し増えるんじゃないかという気はしております。

【事務局（松平）】 ありがとうございます。

【一ノ瀬委員】 2,000円、他市と比較してというのが、立川とか府中は駅前に結構商業施設とかもあって、そこで幾ら以上購入すると何時間無料とかというやつもあつたりするので、そういったところがちょっと国立とはまた環境が違うところかとは思うんですけども、2,000円、持っていかれる側としては、2,000円なら払おうかというところ、3,000円ぐらいまででも電動だと払うと思っていて、ただ、これが電動じゃないとなると、それは買っていいかみたいな感じになってしまう。今、結構電動も普及してきていると思うので、ただ、どれぐらいの割合というのが分からないので何ともいえないんですけども、電動がもっと普及すれば上げて払う、電動買ったほうが全然高いので払うというのはあるかと思えます。

シルバーさんの人件費とか上がっているんですか。今、物価高でいろいろ人件費も上がっていると思うので、もし上げるとなるとこのタイミングで、便乗とは違いますけれども、そういったところもあるのではというの、上げやすい口実にはなるのかというの1つ思うところがありました。

【横田委員】 市民委員の横田です。

自身が持っている自転車への愛着度と金銭感覚によって差は出てくるかと思つていまして、たまたま代表で出ている私の意見を言つてどうなのかと思うところはあるんですけども、私は、結構自分の自転車に手をかけているので絶対持ってかれたくなくてちゃんと止めるんですけども、さっき田中さんおっしゃったように、もうそろそろ買い替えどきかと思つた方は、取りに来ないかなど。

そう。防犯登録、私、ちょっとここで質問を1つしたいと思つたのが、自転車買うとき今、絶対防犯登録しなきゃいけないんです。そうすると、後追いができると思うんですけども、取りに来なかった人に、きっと2,000円よりも処分代のほうが、リサイクルしなきゃいけないんでしょうけれども、リサイクルできないような状態のものを取りに来なかった場合、かえってこっち、管理している撤去した側のほうがお金がかかってしまうのはどうかと。放置自転車した上に処分までしていただいているのは、ちょっとラッキーな状態になっちゃうので、その後追いはしっかりされているのかというのが、ちょっと気になりました。ちょっと話それちゃいましたけれども。

撤去の2,000円に関しては、やっぱり反省するということでも妥当かと思つていますが、大学生の方とかだとちょっとしんどいのかというふうに思いました。自分で稼げていない世代の人にとっては、ちょっと重いのかと思つたけれども、妥当だと思います。

【事務局（蔭山）】 御質問に私、蔭山からお答えさせていただきます。

処分料というお話があつたんですけども、取りに来られなかった自転車は保管期間というのを決めさせていただいておりまして、それを過ぎたら一応は処分というような扱いになってくるのですが、処分とはいっても先ほどお話しさせていただきましたとおりごみ減量課と連携したりとか、あとは民

間の企業さんと連携させていただき、自転車をきれいにしてお店に並べていただいたりとか、もしくは企業さんに無償譲渡させていただいて、海外の自転車が必要なところに輸出していただく取組を行っているところがございますので、本当に残された自転車というのは、ほとんどそっちに回ってしまうような形になるので、あまり処分料というのは発生していないかというふうに見ております。

【横田委員】 そうなんですね。市民が処分したくて処分しようとするとお金がかかってしまうので、そういうふうになってしまったり。

【柴崎委員】 個人的にはちょっと住まいも離れておりますので、なかなか申し上げにくいところではございますけれども、そういうようなこと、取りに行くとかそういうことを考えると妥当な金額なのかというふうな気はしておりますけれども、皆様の御意見を尊重したいと思います。

ありがとうございます。

【新井委員】 立川警察の新井と申します。

20年前に住んでいたところは5,000円でして、やっぱりきついです。それに比べれば安いかとは思いますが、保管料を取るというのは、来た人が2,000円だと思って、それに上乗せされてお金を微々たるものでも払うというのは、これは苦情につながるものだと思う。文句が出るものだと思いますので、よく御検討いただいたほうがよろしいのかと思います。微々たるものでも、2,000円だと思ったのにと違って来たら実は2,300円でしたみたいなことになると、やっぱり少しもめるところが出てくるのかとも思いますので、そこは気を付けていただいたほうがよろしいのかと思います。

【事務局（蔭山）】 そうしましたら、小嶋会長からも御意見ございましたら、いただいてもよろしいでしょうか。全体としてでも大丈夫です。移送手数料についてでもどちらでも。

【小嶋会長】 すみません、小嶋です。

今の移送料の話については、ほかの市、自治体の事例も調べておられるということなので、具体的に出てきた市のほかに近隣、都内ですとかそういったところで幾つもの事例があって、もう既にお調べいただいているということなんだと思いますので、ぜひそういった事例をたくさん出していただいて御検討いただくのがいいのかと思いました。

御意見にあったように粗大ごみとして捨てようとしたら処分費がかかるのに、放置しておいたら無料で処分してくれたというような放置した者得みたいな案が得になってしまうというようなところは、起きてしまっているのかもしれないんですが、避けなければいけないことかというように、今いただいた御意見でも私も気づかされたところですので、ぜひ引き続き御検討いただければと思います。

また、本日ここまでの議論の中で本当にふだん日頃から地域の中で御覧になられている自転車の利用の仕方ですとか、その地域の場所場所の施設、いろいろな生活の中で利用されている施設と駐輪場の関係ですとかそういったところの地域の方の観点で様々本当に御意見いただいている、貴重な御意見をいただけた会というふうになりました。

どうもありがとうございました。以上です。

【事務局（蔭山）】 小嶋会長、ありがとうございました。

ほかには、全体を通して御意見や御質問等ございましたらお受けさせていただきますが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。それでは、小嶋会長にも総括のお言葉をいただいたところでございますの

で、これにて本日の令和5年度第1回国立市自転車対策審議会を閉会とさせていただきます。あらためて委員の皆様、本日は御多忙の中お時間をいただきまして、誠にありがとうございました。

— 了 —